



令和2年度 信州自然講座 「中央アルプスがはぐくむ自然とその保全」

日時：令和2年11月21日（土）13:00～16:00

会場：赤穂公民館 講堂（講演）・ホワイエ（ポスター展）

定員：100名（事前申込制）

主催：長野県環境保全研究所／共催：駒ヶ根市



会場外観（駒ヶ根市赤穂公民館）



昨年度の意見交換会



昨年度のポスター展

令和元年11月30日 豊丘村学習交流センター「ゆめあるて」

プログラム（予定）

○中央アルプス国立公園の紹介（長野県環境部自然保護課）

○研究成果発表（研究所の講演、20分×4題）

* 中央アルプスの自然環境保全

○ポスター展（10題ほど）

* 感染防止対策の下で実施

○意見交換会（30分）

※ 新型コロナウイルス感染防止対策

申込制：これまでは申込不要でしたが、今回は、事前申込み制とし、参加は県内在住者に限らせていただきます。

定員：定員を100名（収容人数300名）とし、座席間隔を2m程度空けます。

マスク：来場にあたってはマスクの着用をお願いします。

検温・消毒：受付には手指消毒液を設置し検温を実施いたします。発熱や風邪症状がある方は、入場をご遠慮願います。

中止の場合：今後の感染症の広がりによっては、講座開催を中止・延期する場合があります。中止等のご案内は、研究所のWebサイト（↓）でお知らせします。

URL：<https://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/jisseki/koza/gakushukoryu/index.html>



山と自然のサイエンスカフェ@信州

（令和2年8月現在）

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で当面の間、開催を見合わせています。

「サイエンスカフェ」は研究者と参加者の皆さまとの活発な意見交換に重点をおいており、新型コロナウイルス感染症により、従来の方法では開催が難しいと判断しました。現在、Web会議ツール（WebExやZoom）を利用した開催等、より良い形でのサイエンスカフェの開催を目指して検討を進めておりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

開催する場合はプレスリリースでお知らせするほか、研究所Webサイト等でもお知らせします。

* 日程・内容等について、今後変更する場合がありますので、あらかじめご通知おきください。

テーマ	開催日
信州の草原はどのように利用されてきたのか	開催見合わせ
トガクシショウマの発見・命名物語	開催見合わせ
信州・南極・温暖化	12月17日（木）
千曲川で増えるブラックバス	1月28日（木）

- 今号からフルカラーになりました。これまで以上に多くの方々に読んでいただける冊子づくりを目指します。
- 前号編集の2月には、9月号の編集がこのような状況下になるとは想像していませんでした。通常の記事～サイエンスカフェ、施設公開、親子環境講座、自然ふれあい講座の結果紹介ができませんでした。
- 新型コロナウイルスの国内での感染拡大は外来生物の爆発的

増加という側面もあります。今号でその関連記事を掲載しました。

- 8月にクマによる人身事故が複数発生しました。事故が起こらないようにするためにも、身近な自然の変化にはいつも注意を向けていたいと思います。
- 次号は3月発行予定です。それまでにはコロナが収束していますように。（編集担当：渡辺・堀田・浜田・陸）

